

令和2年度 松原市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証について

No.	補助・単独	所管課	交付対象事業の名称	事業概要	事業始期	事業終期	R2年度 決算額					①事業の実施状況 ②事業の効果(評価)	
							総事業費(円)	内訳					補助対象外経費
								C 臨時交付金充当額	D 国庫補助額	E 起債額	F その他		
1	単	産業振興課	休業要請支援金(府・市町村共同支援金)事業	大阪府の休業要請に応じた事業所等に対し、支援金を給付する。	R2.5	R3.3	104,750,000	104,750,000	-	-	-	①大阪府の休業要請に応じた事業所(法人39社、個人341事業者)に対し、支援金を給付した。 ②感染症の影響により、休業要請を受けた市内事業者への支援を図ることができた。	
2	単	教育総務課	遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想への支援事業	公立学校情報機器整備事業(GIGAスクール構想)の対象ではない、児童生徒3人に1人分の整備及び授業の円滑な推進に向けた教員用端末の整備	R2.6	R3.3	580,377,600	244,160,600	-	-	336,217,000	①市内小中学校22校を対象に、1人1台端末の整備を行うため、地方単独事業分の児童生徒の1/3及び指導用の端末や、SIMカードを整備した。 ②上記①を実施することにより、市内小学校における感染防止対策の徹底や、休校時等における学習保障を図ることが出来た。	
3	単	学校給食課	学校給食費の全額免除	小中学校の学校給食費の2学期及び3学期分を全額減免する	R2.8	R3.3	230,235,155	230,235,155	-	-	-	①市立小中学校に通う児童5,135人、生徒2,565人に対し、学校給食費の無償化を行った。 ②上記①を実施したことで、子育て世帯の経済的負担軽減を図ることが出来た。	
4	単	教育総務課	学校臨時休校に伴う夏季休業日の学習環境整備事業	学習機会の確保を図るとともに、感染を防止するため分散学習を図り、併せて長期休業中の課業に対応するため整備(空調機器) ※小中学校令和2年度学級数344学級の内60学級	R2.6	R3.3	89,837,660	45,237,660	44,600,000	-	-	①市内小中学校22校を対象に、普通学級50室、支援学級10室に空調を整備した。 ②上記①を実施することにより、市内小中学校において感染防止対策の徹底を図ることが出来た。	
5	単	産業振興課	特別出産給付金事業	「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」の趣旨を踏まえ、国の特別定額給付金の基準日にかかわらず、令和2年度中に生まれた全ての子どもをお祝いするとともに、子育てに係る生活支援を行うことを目的に、特別定額給付金の基準日(4月27日)の翌日以降に生まれた子どもに対し1人当たり10万円を支給する。	R2.7	R3.3	68,635,634	68,554,516	-	81,118	-	①令和2年4月28日～翌年3月31日に生まれた子ども697人に対し給付金を支給した。 ②感染症の影響を受けた子育て世帯への支援を図ることができた。	
6	単	観光・CP課	市内事業者支援事業	商工会議所が実施する市内事業者の来客数増加支援クーポン発行事業 【概要】 市内店舗で使用可能な割引クーポンを全戸分6万冊作成・配布する。事業者はそのクーポンを利用した市民に対し、券面に記載した店舗独自の割引サービスを提供し、サービス分の費用について、10万円を上限として補助を受ける。 事業は150店舗を対象とし2回計300店舗募集して実施。	R2.5	R3.3	44,969,394	44,969,394	-	-	-	①クーポンの配布を2回に分けて実施した。第1回150店舗参加、補助上限額10万円。第2回246店舗参加、補助上限額15万円。 ②補助金換金額第1回7,847,804円、第2回21,672,449円。経済効果額(クーポンによる総売上額を試算)第1回51,099,325円、第2回111,312,930円。	

No.	補助・単独	所管課	交付対象事業の名称	事業概要	事業 始期	事業 終期	R2年度 決算額					①事業の実施状況 ②事業の効果(評価)	
							総事業費 (円)	内訳					補助対象外 経費
								C 臨時交付金 充当額	D 国庫補助額	E 起債額	F その他		
7	単	上下水道総務課	松原市水道事業会計繰出・補助(救急診療によるコロナ感染症のリスクがある病院の経営支援)	市内にある救急告示医療機関(救急協力診療科に内科がある病院に限る)の水道料金を減免することにより、救急診療による新型コロナウイルス感染症のリスクがある病院の経営支援を行う。	R2.7	R3.3	26,753,392	26,753,392	-	-	-	①阪南中央病院、松原徳洲会病院、明治橋病院及び寺下病院の水道料金(令和2年7月から令和3年3月まで)の減免を実施した。 ②上記①を実施することにより、対象病院の経営支援を図ることが出来た。	
8	単	危機管理課	防災活動支援事業	避難所の衛生環境を保ち、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営に必要な資材を揃えるもの。	R2.5	R3.3	13,497,440	13,497,440	-	-	-	①避難所となる小中学校に、手指消毒用アルコール2,000本、フェイスシールド10,800枚、サージカルマスク30,700枚、防護服700着、非接触型赤外線式体温計30台、段ボールベッド40台、ワンタッチ間仕切り285張を整備した。 ②上記①を実施することにより、小中学校において、感染症に対応した備蓄物資を整備することが出来た。	
10	単	教育推進課	学校保健体育関係事業	学校現場における感染症拡大防止対策に係る物品購入経費	R2.6	R3.3	2,904,000	2,904,000	-	-	-	①市内各小中学校を対象に、非接触型体温計300本を整備した。 ②上記①を実施することにより、市内各小中学校において感染防止対策を図ることができた。	
13	単	教育推進課	学校施設における消毒ボランティア事業	①学校再開後の新型コロナウイルス感染症の感染防止を目的に、児童生徒下校後に地域ボランティア等による学校施設の消毒を行う。	R2.6	R3.3	6,956,500	6,956,500	-	-	-	①市内各小中学校を対象に、学校施設の消毒作業を行う地域ボランティア等を配置した。 ②上記①を実施することにより、市内各小中学校において感染防止対策の徹底を図ることができた。	
23	単	福祉総務課	子ども食堂応援事業	新型コロナウイルスの影響により、経済的に困難な子育て世帯やその子どもたちを支援することを目的に、子どもの居場所づくりを行っている子ども食堂に対し、子どもの食事に関する食材相当分の費用を補助する活動支援を行う。	R2.7	R3.3	50,000	50,000	-	-	-	①延べ25回開催し、307人参加した。②コロナ禍で十分に集まれない中、感染対策を行い実施することで、子ども達の居場所づくりにより寄与した。	
30	単	産業振興課	臨時元希者世代支援金事業	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の趣旨を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響下において、在宅時間が長くなりエアコンの電気代の負担が増える高齢者への家計支援として、元希者世代(令和2年7月1日時点において、昭和30年7月1日までに生まれた者であって、松原市の住民基本台帳に記録されている者)のみで構成する1世帯に1万円を給付する。	R2.7	R2.9	189,577,468	189,577,468	-	-	-	①65歳以上の人のみで構成された世帯(18,794世帯)に、クーラー代として給付金を支給した。 ②在宅が増えた高齢者に対して、屋内での熱中症の予防を図ることができた。	

No.	補助・単独	所管課	交付対象事業の名称	事業概要	事業 始期	事業 終期	R2年度 決算額					①事業の実施状況 ②事業の効果(評価)	
							総事業費 (円)	内訳					補助対象外 経費
								C 臨時交付金 充当額	D 国庫補助額	E 起債額	F その他		
31	単	危機管理課	災害対策事業	市民の防災意識の向上や自助の促進を図るため、各家庭において新型コロナウイルス感染症等にも対応した防災用品を備えることができるよう整備支援するもの。	R2.9	R3.3	127,648,016	127,648,016				①感染症対策用品(マスク、アルコール消毒液、除菌ウェットシート)を含めた32品目の入った防災用品を28,250個を整備した。 ②上記①を実施したことにより、市民の防災意識向上及び感染症対策の啓発を行うことができた。	
32	単	産業振興課	臨時住宅ローン支払者支援金事業	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の趣旨を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響下において、本市内の自己の居住用住宅に関し住宅ローンを返済している者を支援することを目的に、対象者(本市において住宅を新築又は取得し、居住し、当該住宅につき固定資産税額が賦課されており、住宅ローンの返済が終了していない者)に対し、1人当たり上限1万円を交付する。	R2.7	R3.3	67,330,894	67,330,894				①住宅ローンを返済中の市民に給付金を支給した。(5,381件) ②住宅ローンの返済中であり感染症の影響を受けた世帯への支援を図ることができた。	
33	単	高齢介護課	松原市元希者応援事業	新型コロナウイルス感染症防止のための外出自粛に伴う家計負担や地域経済への影響に鑑み、地域における消費活動を支援するため、5,000円分(タクシー1,500円、商品券3,500円)の商品券を交付する。	R2.7	R3.3	99,449,618	99,449,618				①75歳以上の受給資格がある高齢者19,148人に対し、商品券及びタクシー券を交付した。 ②対象の高齢者の外出支援に繋がりを、地域における消費活動に貢献することができた。	
34	単	地域保健課	がんばる医療従事者慰労事業	新型コロナウイルス感染症の拡大が広がる中、新型コロナウイルスに感染するリスクを負いながら、市民の安心・安全のため、本市内の病院等で働く医療従事者等に対し、本市の特産品を送付することで、感謝の気持ちを示すことを目的とする。	R2.9	R3.3	61,013,682	61,013,682				①新型コロナウイルス感染症の拡大が広がる中(令和2年1月26日から6月1日までの期間中)本市内の病院等において新型コロナウイルス感染症に対応した医療従事者等(申請者3,690人)に対し、本市の特産品(1人あたり、最大16,000円分(送料込み))を送付した。 ②新型コロナウイルス感染症への感染リスクの高い状況において就業し、市民への医療体制等を確保した医療従事者等へ慰労の意を示すことができた。また、感染拡大で経済が低迷する中において、市内業者の販売促進につながった。	
35	単	教職員課	修学旅行費支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた児童又は生徒の家庭の負担を軽減することを目的に、令和2年度中に実施する修学旅行に参加する児童又は生徒の保護者に対し修学旅行費支援金を交付する。	R2.9	R3.3	31,328,122	31,328,122				①松原市内全小中学校の修学旅行を実施することができた。 ②交付金を利用したことで保護者負担を軽減することができた。	

No.	補助・単独	所管課	交付対象事業の名称	事業概要	事業 始期	事業 終期	R2年度 決算額					①事業の実施状況 ②事業の効果(評価)	
							総事業費 (円)	内訳					補助対象外 経費
								C 臨時交付金 充当額	D 国庫補助額	E 起債額	F その他		
36	単	危機管理課	防災活動支援事業②	避難所の衛生環境を保ち、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営に必要な資材を揃えるもの。	R2.7	R3.3	43,849,800	43,849,800	-	-	-	①手動噴霧器24セット、ハンドスプレー60本、ペーパータオル1,350パック、足踏式消毒スタンド24台、70ℓペール200セット、サーモグラフィー24セット、ゴミ袋100枚入り108箱、ニトリル手袋100枚入り50箱、フェイスシールド1300枚、ハンドソープ1,400本、ゴーグル300個、ワンタッチ間仕切り1,275張、簡易ベッド1,310基、折り畳み式アルミマット3,120枚、自動温度測定機19台、パルスゼロメーター80個を整備した。 ②上記①を実施することにより、小中学校において、感染症に対応した備蓄物資を整備することが出来た。	
37	単	産業振興課	臨時子育て世代支援金事業	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の趣旨を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響下において、その多くが被扶養者等である高校生世代の者がいる世帯を支援することを目的に、対象者(平成14年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者であって、本市の住民基本台帳に記録されている者等)1人当たり1万円を給付する。	R2.7	R2.9	34,112,651	34,112,651	-	-	-	①高校生世代がいる世帯に給付金を支給した。(3,391人) ②感染症の影響を受けた、高校生世代を育てる世帯への支援を図ることができた。	
39	単	産業振興課	新型コロナウイルス感染症関連給付金等申請サポート事業	雇用の安定及び事業活動の継続を図るため、国、大阪府及び松原市が実施する新型コロナウイルス感染症に伴う補助金等の相談や申請サポートの支援を行う。	R2.8	R3.3	2,337,270	2,337,270	-	-	-	①大阪府行政書士会と委託契約を結び、国や府などの給付金や助成金の申請サポート窓口を開設した。 ②事業者に対し、適切な給付金や助成金の案内を図ることができた。	
40	単	消防総務課	救急搬送用資機材整備事業	搬送用アイソレーター装置を整備し、新型コロナウイルス感染症患者及び疑いのある患者の搬送における救急隊員の感染防止措置を強化する。	R2.8	R2.10	3,564,000	3,564,000	-	-	-	①搬送用アイソレーター装置を2台整備した。 ②上記①を実施することにより、新型コロナウイルス感染症患者及び疑いのある患者の搬送における救急隊員の感染防止措置を強化することができた。	
42	単	産業振興課	臨時プレミアム付商品券事業	新型コロナウイルス感染症による影響を受けた世帯の家計支援と市内消費の喚起による市内事業者への活動支援。	R3.2	R3.3	55,211,625	55,211,625	-	-	-	①松原商工会議所に委託契約を行い、プレミアム率30%付きの商品券の発行を実施した。 ②感染症の影響を受けた世帯の家計支援と市内消費の喚起を図ることができた。	

No.	補助・単独	所管課	交付対象事業の名称	事業概要	事業 始期	事業 終期	R2年度 決算額					①事業の実施状況 ②事業の効果(評価)	
							総事業費 (円)	内訳					補助対象外 経費
								C 臨時交付金 充当額	D 国庫補助額	E 起債額	F その他		
43	単	地域保健課	高齢者インフルエンザワクチン接種事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえて、同時期に感染拡大が懸念される季節性インフルエンザの流行を抑えることで、医療体制の維持と高齢者がインフルエンザに罹患し、重症化することを防止する。	R2.10	R3.1	113,392,838	38,075,988	-	5,207,000	70,109,850	①例年は65歳以上及び60～64歳の内部疾患身障者1級相当の方へのインフルエンザワクチンを自己負担1,000円で実施。生活保護世帯は無料で実施のところR2年度は対象者全てを自己負担なしとした。 ②接種しやすい体制を整えることで接種率の向上を図り、インフルエンザ感染症のまん延を防止し、新型コロナウイルス感染症の陽性者に対する医療体制の確保につながった。	
44	単	地域保健課	子どもインフルエンザワクチン接種事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえて、同時期に感染拡大が懸念される季節性インフルエンザの流行を抑えることで、医療体制の維持と小児インフルエンザ罹患における重症化を防止する。	R2.10	R3.1	8,853,000	8,853,000	-	-	-	①生後6か月から高校3年生に相当するまでの人にインフルエンザワクチン接種費用の一部助成(1,000円)をおこなった。 ②接種しやすい体制を整えることで接種率の向上を図り、インフルエンザ感染症のまん延を抑えられ、新型コロナウイルス感染症の陽性者に対する医療体制の確保につながった。	
45	単	地域保健課	年末年始診療医療機関支援事業	年末年始においては、ほとんどの診療所が休診となり、その間、3医療機関に発熱などの新型コロナウイルス感染症を疑う患者の診療の中核を担ってもらった。診療にあたっては医療重視者等のスタッフの増員、病床の確保及び個人防護具等十分な体制整備が必要であり、常に感染という脅威にさらされることに対して、各医療機関に支援金を交付する。	R2.12	R3.1	3,000,000	3,000,000	-	-	-	①コロナ禍において、年末年始の診療体制を確保してもらうため、市内3医療機関に支援金を交付した。 ②年末年始において、ほとんどの診療所が休診となる中、3医療機関に新型コロナウイルス感染症を疑う患者の診療の中核を担ってもらうことで、市民の安心・安全につながった。	
46	補	教育総務課	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) 感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、学校設置者が実施する取組に係る経費を補助することにより、学校における感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学びの保障をする体制の整備を促進する。	R2.4	R3.3	49,929,123	24,993,123	24,936,000	-	-	-	①市内小中学校を対象に、マスク282箱、除菌スプレー374本、便座除菌ディスペンサー517本、机椅子720脚を整備した。 ②上記①を実施することにより、市内小中学校において感染防止対策の徹底を図ることが出来た。

No.	補助・単独	所管課	交付対象事業の名称	事業概要	事業始期	事業終期	R2年度 決算額					①事業の実施状況 ②事業の効果(評価)	
							総事業費(円)	内訳					補助対象外経費
								C 臨時交付金 充当額	D 国庫補助額	E 起債額	F その他		
47	補	子ども未来室	子ども・子育て支援交付金	①小学校の臨時休校に伴い留守家庭児童会室を午前中より運営するにあたっての当該費用 ②感染予防の観点から家庭での保育が可能な場合においては登所を控える旨の行政からの要請に応じた保護者に対する留守家庭児童会室の日割り計算による減免措置	R2.4	R3.3	10,695,311	3,565,311	3,565,000	-	3,565,000	-	①:①令和2年4月8日から令和2年6月12日の小学校臨時休校から分散登校終了までの期間、留守家庭児童会室を午前中から開所し保育を実施した。 ①:②感染症予防対策を実施しながら、保護者が仕事を休めない家庭の児童の居場所を提供することにより児童の健全な育成に努めた。 ②:①、②令和2年4月8日から令和2年5月31日の緊急事態宣言の発令期間について、登室自粛をお願いし、出席日数に応じた使用料の日割り減免を行った。4、5月延べ1,549人に対して、5,391,170円の減免を行った。
48	補	学校給食課	学校臨時休業対策費補助金	新型コロナウイルス感染症対策に係る小中学校の臨時休業に伴う学校給食の中止により、保護者が負担することとなる食材の購入(加工賃等)に係るキャンセル料等を市が負担することにより、保護者の経済的負担の軽減を図るもの。	R2.5	R3.3	6,321,079	1,580,270	4,740,809	-	-	-	①保護者が負担することとなる食材の購入(加工賃等)に係るキャンセル料等を市が負担した。 ②上記①を実施したことで、保護者の経済的負担軽減を図ることが出来た。
49	補	教育研修センター	教育支援体制整備事業費補助金	①新型コロナウイルス感染症対策による休業により学習の進度が遅れたため、教員が行う放課後や授業中の学習指導への支援を実施する学習支援員(退職教員)を、松原市内小・中学校に配置する。	R2.7	R3.3	3,432,000	1,373,000	686,000	-	1,373,000	-	①事業完了(全額執行) ②市内全22校に学習支援員を配置することにより、きめ細かな学習指導への支援を実施できた。
50	補	教育総務課	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、学校設置者が実施する保健衛生用品等の整備に必要な経費を補助することにより、幼児、児童及び生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進する。	R2.4	R3.3	2,061,505	1,031,505	1,030,000	-	-	-	①市内小中学校を対象に、消毒液2、674L、マスク350枚、足踏み式消毒22本を整備した。 ②上記①を実施することにより、市内小中学校において感染防止対策の徹底を図ることが出来た。